

トルコ・シリア地震

オンラインチャリティーボックスを販売しています

売り上げは被災した方々の支援のための寄付となります



はじめまして、「ふつうの明日」です。

2023年2月6日に発生したトルコ・シリア地震。日々明るみになる大きな被害の状況を受け、離れた土地ではありますが、すこしでも手伝えることができればと話し合い、オンライン上でチャリティーボックスを販売し、収益から最低限の経費を除いた額を寄付することになりました。

寄付先は、阪神淡路大震災から継続して活動されているコミュニティラジオ、FM わいわいに繋いでいただき、細やかで確実な活動をされている CODE、JIM-NET、Team Beko の3団体です。

このチャリティーボックスには、参加者が持ち寄った詩やうた、写真、絵、漫画などのデータが詰まっていますので、みなさんの生活の好きな時間に眺めたり、読んだり、聞いたりしていただければ幸いです。

小さな企画ではありますが、文化的な側面から支援の輪を広げていくこと、また、災禍を受けた社会について、その後を生きていくわたしたちの暮らしについて、ともに考えたり対話したりするきっかけのひとつにもなればと願っています。

「ふつうの明日」は、安心と安全が確保された穏やかな日々を願って、遠い土地で同時代を生きる私たちが、互いの存在を確かめあい、声を交換しながら、必要な場所にケアを届けるための小さなチャリティープロジェクトです。仙台で出会った磯崎未菜、菊池聡太郎、工藤夏海、瀬尾夏美が中心となって運営しています。

チャリティー参加者

磯崎未菜／歌「眺めている日々」

菊池聡太郎／絵と文「夢の話」

工藤夏海／イメージ

小原一真／写真

木村肇／写真

小林エリカ／文字「Flustr_elUragano」

小森はるか／イメージ「いつもの道を歩いていく」

さいとうじゅん／マンガ

佐竹真紀子／絵画「幸せだけ正夢になれ（2011）」

澁谷浩次／詩

住むの風景（柴原聡子、温又柔、小島ケイタニーラブ

朝岡英輔、瀬尾夏美、トヤマタクロウ、米山菜津子）

／写真、テキスト、詩、歌

瀬尾夏美／マンガ「夜が明けるまで」

Nami Sato／曲「Bay leaf」

磔の楽音（和合亮一、平川綾真智、Ikoma）

／トーク、朗読

HUNGER (GAGLE)／歌詞「僅かな証」

細馬宏通／マンガ「灯台さん」

前野久美子／選書

山田参助／イラスト「またたび」